

兵庫県保険医協会

263号 2013年10月5日

神戸支部ニュース

発行 兵庫県保険医協会神戸支部

連絡先 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F
兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1801 FAX/078-393-1802

神戸支部研究会「神戸低侵襲がん医療センターを目指すがん医療」

小さく見つけてやさしく治す



院長 藤井 正彦

藤井正彦先生が講演

神戸支部は9月21日、協会会議室で支部研究会「神戸低侵襲がん医療センターを目指すがん医療」を開催、会員医療機関から医師・歯科医師など23人が参加した。神戸低侵襲がん医療センター院長の藤井正彦先生が講演し、最新の設備や病院での実践を紹介しながら放射線治療技術の進化などをわかりやすく解説。講演後には活発な質疑も行われ、大いに学習、交流した。参加者の感想文を紹介する。

今日の神戸低侵襲がん医療センターの藤井先生のお話を聞いて、がん治療も新しい時代に入ったと感じました。初期や早期のがんは手術が第一選択と考えていましたが、(消化管のがんを除いて)手術と同等の効果がある場合が多いとの事です。だれもが手術をしたくありませんので、医療センターを目指す“小さく見つけてやさしく治す”治療はこれからの医療の主流になりそうです。

私は質問させて頂き、“完全に取りきる早期がん手術と比べて放射線治療ではがんを完全に叩ききれないのでは”との質問には、“はたして手術によって完全にがんをとりきれているのでしょうか?手術はむやみに範囲を広げられないが、放射線は自由に範囲を設定できる”との



23人が参加し熱心に学習した

回答で、私自身今後の第一選択としての早期がんの放射線治療に期待が高まりました。

これから高齢化が進んでいき、体力の少ない高齢のがん患者の増加が予想されます。地元神戸から徐々に広がり、低侵襲がん治療が一般的になるよう望んでいます。

【西区・向原 進一】

地域から社会保障拡充の運動を

一各区社保協が総会を開催

神戸支部も加盟する東灘区・須磨区・垂水区の各区社会保障推進協議会(社保協)が総会を開催し、熱心な学習や交流が行われている。

政府が社会保障制度改革推進法にもとづく負担増と給付抑制の具体化や、消費税増税の議論を進めようとする情勢のもとで、構成団体の多彩な活動を交流するとともに、社会保障拡充の運動を地域から盛り上げていく必要性が強調された。

とくに、神戸市が来年度から国保料の算定方式を変更することにもない、多人数世帯などの大幅な国保料アップが危惧されている。国保改善が喫緊の課題となっており、各区総会では学習会も行われ、活動を強めることが確認された。

また須磨区では加藤擁一協会副理事長



地域での様々な活動を交流した(8/18 須磨区社保協総会)

が代表幹事に、垂水区では宮武博明協会理事が会長に、それぞれ再任された。協会・神戸支部でも今後大型宣伝企画や会員署名などの運動に取り組むこととしており、引き続き社保協に参加し地域の住民や団体と連携して活動を進める。

支部ニュースへの投稿を募集しています

支部ニュースへの投稿を募集しています。
日常診療にかかわることや、主張、趣味のお話などお寄せください。



電話 078-393-1817/FAX 078-393-1802 e-mail ntm@doc-net.or.jp 担当 ; 納富まで

開業医手作り 健康情報テレホンサービス 月替わり健康情報 ☎ 0120-979-451

10月のテーマ

- 【月 曜】 ファッションとカラーコンタクトレンズ
- 【火 曜】 慢性硬膜下血腫
- 【水 曜】 インフルエンザあれこれ
- 【木 曜】 耳鳴でお悩みの方へ
- 【金土日】 強迫性障害とは

11月のテーマ(予定)

- 【月 曜】 女性に多い冷え症
- 【火 曜】 入院前にお口のケアを一周術期口腔機能管理一
- 【水 曜】 マイコプラズマ肺炎の話
- 【木 曜】 胸やけ(逆流性食道炎)の話
- 【金土日】 ヘルペスってどんな病気?



患者さんにオススメください!



待合室からいのちを守る声広げよう

景品付きクイズチラシ スタート! ラジオ関西番組

第1シーズンスタート! 応募期間は10/1～12月末まで

今年のクイズチラシは、政府が70～74歳の窓口負担を2割に倍増させようとしていることから、高齢者の窓口負担をテーマとしました。「70～74歳の窓口負担を1割のままにするには、国の負担はいくら必要か?」など、裏面の「ヒント」を読めば回答がわかる仕組みで、グルメ景品が100人に当たります。

チラシは、グッズを注文いただいた医療機関で配布・回収していただきます(協会ウェブサイトからも応募可能)。職員が声をかけ、患者さんとの対話のきっかけに、待合室から窓口負担増を止める世論を広げましょう。

まずは「クイズチラシグッズ」の注文を!(受付は先着300件)



ご注文は、セット数、会員名、医療機関名、住所、電話番号を明記の上、協会FAX 078-393-1802 までお申し込みください。

「オーバー30」賞

応募用紙を30件以上集めて返送いただいた会員医療機関の中から抽選で10医療機関に2万円の旅行券を贈呈!また、参加した会員医療機関にはもれなく参加賞(図書カード)をお送りします。

ラジオ関西番組出演

「医療知ろう!」

10月3日スタート!

毎週木曜19時40分頃～20時

AM558kHz

(但馬放送局1395kHz)



ラジオ関西への出演は、10月から3月までの毎週木曜日、夜7時から9時の「寺谷一紀と! い・しょく・じゅう」内で、保険医協会提供コーナー「医療知ろう!」として10分程度放送します。

前年度はのべ27人の役員・会員らが出演し、「TPP」「消費税」や「インフルエンザ」「歯の大切さ」など医療にかかわるさまざまなテーマを解説。放送後はユーチューブで動画としても見ることもできます。ぜひ出演企画を協会までお寄せください。

大型宣伝企画に関するお問い合わせは TEL: 078-393-1807 まで

兵庫県保険医協会神戸支部第34回総会記念講演のご案内

『医者にかかるな』

に対抗する方法

— 「医療否定」ブームをどう考えればいいのか —

日 時： 10月19日(土) 14:30～16:30

会 場： 兵庫県保険医協会会議室

講 師： 村田 幸生 先生

(神鋼病院附属新神戸ドック健診クリニック)

今、超高齢化社会を迎え、日本人の死生観、医療観は混乱している。「高齢者には何もするな」「自然にまかせろ」からついには、「医療とかかわるな」「治療するな」という内容の本が大ベストセラーになる「医療否定」ブームである。わたしの書いた『医療否定は患者にとって幸せか』(祥伝社新書)は書評、ネットで叩かれている。今の日本人は、がんや寝たきりになった時のことが不安で、その時心安らくなる方法を求めているのだ。医療否定本はまさしく「治療しなければ苦しくないんですよ!」と、それを与えてくれている。だから医療側からの医学的反論ではこのブームに対抗できないのである。われわれ医療関係者は今後どう考えてゆけばいいのだろうか。(村田記)

【講師ご略歴】 神戸大学医学部卒。医学博士。神鋼病院糖尿病代謝内科部長・臨床研修指導部長を経て、現在は神鋼病院附属新神戸ドック健診クリニック・マリナーズ厚生会病院糖尿病外来勤務、兵庫大学健康科学部講師を兼任。著作に『スーパー名医が医療を壊す』『医療否定は患者にとって幸せか』(いずれも祥伝社新書)ほか多数。

スタッフ、ご家族も一緒にご参加ください

話題のスタジオジブリ小冊子
『熱風』7月号(憲法問題特集号)
を参加者に贈呈!

お問い合わせは TEL: 078-393-1805
納富(ノトミ)・沖野まで

参加申込 FAX 返信: 078-393-1802

総会 (14時半～) に参加します 記念講演 (15時～) に参加します

会員懇親会 (17時～) に参加します *参加費無料(会場:ニューミッド神戸元町店)

医療機関名

お名前

参加人数 _____ 人